

キャラクター名
境井 燎

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ		ワークス	UGN支部長A	カヴァー	UGN精鋭部隊Noah隊長
	ブラックドッグ					
オプション			年齢	24	性別	野郎
覚醒	生誕	衝動	解放	初期侵食率	39%	
出自	複数の兄弟姉妹	経験	力の暴走	邂逅	保護者	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	64
肉体	4	1	1			6	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	0	0	1			1	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転:	2		芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
アームブレード	白兵	6r	3	9		ガード値は-5

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
遺産継承者:神死の雷霆	
思い出の一品(アン隊長のコート)	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス:遺産継承者一ガシー	P	N		
姉弟(境井 琳子)(境井 仁)	P 幸福感	N 恐怖		
Noah	P 連帯感	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:ブラックドッグ	2	2	シンドローム	-	-	-		
効果: C値-Lv								
アームズリンク	5	2	<白兵><射撃>	武器	-	対決		
効果: 判定ダイス+Lv								
ペインエディター	5	-	常時	至近	自身	自動		
効果: 最大HP+Lv×5								
雷光撃	7	2	シンドローム	-	-	対決		
効果: 攻撃力+Lv×2								
雷鳴の申し子	1	5	シンドローム	-	-	対決	ピリア	
効果: 攻撃力+[(最大HP)-(現在HP)]使用後HPO シリアLv回								
ライトカスタム	2		常時	至近	自身	自動		
効果: 最大HP+5、肉体感覚ダイス+1 基本侵蝕値+2								
イオノクラフト	3	1	マイナー	至近	自身	自動		
効果: 飛行戦闘移動 距離+Lv×2m								
雷の加護	3	2	マイナー	至近	自身	自動		
効果: 判定ダイス+Lv								
鼓舞の雷	1	4D10	インジヤブ	視界	単体	自動	120	
効果: インジヤブにメイク可能 シリア1回								
MAXボルテージ	3	4	シンドローム	-	-	対決	80	
効果: 攻撃力+10 ダイス-1 シリアLv回								
雷神の降臨	5	6	セットアップ	至近	自身	自動	100	
効果: 攻撃力+Lv×5 行動値0								
ハードワイヤード	1		常時					
効果: アームブレード取得								
アタックプログラム	3	2	<白兵><射撃>					
効果: 達成値+Lv×2								

サカイ リョウ
きゆうせいのらいこう ーケラウノスー

誕生日 12/31

基本真顔だがよくよく見ると顔にめっちゃ出てる。思ったことは相手の目を見て真っ直ぐ言うタイプ。よく言えば主人公気質、悪く言えば天然タラシ真顔でガッケー系ノックである。
守ると決めたものは絶対に守る。死んでも助ける。信念はどこまでも貫きとおす。
無類の甘党で特にチョコレートが大好き。
与えると本人は無意識だがそれはそれは充実した顔で黙々と頬張る。多分お花とんでる。

かつては自身の制御できない破壊するだけの力に絶望していた。普段表には出さないものの心の内には人一倍強い正義感と優しさが宿っていたせいかな尚更ただ周りを傷つけることしかできない自身の能力をそんな世界を呪っていた。
旧Noah部隊——『家族』に出会うまでは。
入隊直後、自身の恩人とも呼べる部隊長が任務中にジャーム化した。自分を庇ったせいで。
彼女は最期にこう言い残した「お前の力は誰かを救うためのものだ」と。
初めは理解できなかったその言葉はやがてどんな困難に立ち向かうときも自身を支える光になった。
だが一人ではそれに気がつくことはできなかっただろう。バラバラになってもずれ違っても手を引いてくれた仲間が『家族』がいたから光を見つけ前に進み続けることができた。
そして世界を救ったあの日から5年。

